

まごころ

第57号

発行日 平成25年10月1日
 発行 星が丘地区社会福祉協議会
 相模原市中央区星が丘3-1-38
 星が丘公民館内
 TEL 042-755-9955
 編集 広報紙編集委員会

「相模原市赤十字奉仕団」及び「中央方面隊第4分団第4部消防団」の皆様にご協力していただいた。開催にあたり、全面的に協力していただいた。星が丘地区社会福祉協議会から授与されることは1日の疲れも無いように皆輝いた目をしていました。

ロープワークによるブルーシートでの簡易テント作り



午前中習ったロープワーク(ロープを使っての結び方)でブルーシートの簡易テントを作りました

放水等の消火体験



火事場サインめがけて放水体験をしました。子ども達は目を輝かせて果敢に挑戦していました

心肺蘇生法とAEDの使い方



レサシアン(心肺蘇生法訓練マネキン)を使って一次救命措置(心肺蘇生・AEDの使用)の講習を受けました

車椅子の操作



乗る人操作する人交互に車椅子体験をしました

星が丘防災スクール 楽しく出来ました!

星が丘防災スクールは小中学生男女の19人が参加して、8月25日午前9時から午後2時半まで公民館と星小校庭を使って行われました。これは、主に「中学生を対象に救命講習及び実践体験講座を開催することによって、有事の時に活動できる知識を身につけ、ボランティアの意識を高めていただく」ことを目指して星が丘地区社協で初めて取り組みました。

当日は、相模原市赤十字奉仕団による「心肺蘇生法とAEDの使い方」「ロープワークによるブルーシートでの簡易テント作り」及び市社協による「車椅子の操作」並びに中央方面隊第4分団第4部消防団(旧第1分団第9部)による「放水等の消火体験」が行われました。

開始当初は元気がなかった子ども達も午前の講習、非常食のアルファ米と地区社協役員等が作ったカレーを食べた頃から次第に元気になり、午後の放水等による消火体験では、実際に放水筒(可変ノズル)を自分1人で持って火事場サイン(火点)めがけて放水するところには楽しく生き生きと消火体験をしていました。

終わりに講師からの講評やボランティア認定証が星が丘地区社協会長から授与されることは1日の疲れも無いように皆輝いた目をしていました。

第27回 福祉バザー

10月27日(日)開催

今年の福祉バザーは10月27日(日)に開催されます。

今年は会場をこれまでの公民館から「星が丘地区ふれあいフェスティバル」内に移し、星が丘小学校校庭での開催となります。

バザーは毎年各自治会を通して地域の皆さまから物品を提供していただいております。今年も御協力をお願いいたします。詳細は自治会の回覧でお知らせします。

バザーの収益金は星が丘地区社協の福祉事業等に役立させていただきます。

福祉バザーとフェスティバルの同時開催の相乗効果により例年以上の多くの来場者で賑わうことを期待しています。

地域の皆さまお誘いあわせの上、フェスティバルの模擬店でおいしい物を召し上がり、ステージでのパフォーマンスをお楽しみいただきながら、ぜひバザーでいい物を見つけにご来場下さい。

お待ちしております。

いきいきサロン「カトレア会」

千代田5丁目の老人クラブ「フレンド会」解散後有志が集まり、この4月池田ときえさんを代表に「カトレア会」が発足しました。

- 開催日 第1・第3木曜日/午前10時より12時迄
- 場所 千代田5丁目自治会館
- 参加費 お茶菓子代100円

会員は13名でその内男性は3名です。お茶のみをしなから、近況報告をします。手芸品を持ち寄り作り方を聞いたり・おしゃべりは楽しく盛り上がります。

～これからの事業～

11月23日(土)みんなのつどい

時間 午前10時から12時迄
 場所 星が丘公民館
 内容 まつぼっくりツリー作り(予定)等

シリーズ福祉施設紹介 陽だまり第2作業所

陽だまり第2作業所は、精神障がい者の方が通う地域作業所です。就労することが困難な障がいを持った方が、生活リズムを整え、就労・地域社会参加をできるように作業を通じ活動しています。

作業内容は、ゲームセンター等に置いてあるいわゆる「ガチャガチャ」のカプセルのリサイクルです。カプセルを機械洗浄したり、カプセルに玩具をつめ直したりしています。また、タバコの景品用の箱を組み立てたり、接着剤の包装作業等を行っています。外で作業をしていることもあり、見かけた声をかけてください。

他には、上溝にブルーベリー園があり、そこで草取り、肥料まきや収穫の手伝いを行っています。利用者同士は仲がよく、元気に和気あいあいと作業をしています。また月1回のレクリエーションでは、買い物や食事会・社会見学など外出してリフレッシュしています。やるときはやる、楽しむ時は楽しむとメリハリをつけて、自分のペースでそれぞれの目的達成を目指し活動しています。

地域の皆様には、ご理解ご協力をいただき、障がい者がより充実した地域生活を過ごせるようにしていきたいと思っております。





相模原市中央区星が丘4-9-2
 Tel.042-751-0200

編集後記

今年、富士山が世界文化遺産に登録され注目をあびています。今までは登ってみたいと思う方が増えたのではないのでしょうか。

私も、富士山登頂を体験しましたが、9合目辺りで少し呼吸が乱れ息苦しくなりました。高山病にならないようにするには、休憩をとりながら、ゆっくりとカメラの歩みで登るとよいそうです。

富士山に登る時は、体調や装備を万全にすることはもちろん、ゴミを持ち帰るなどのマナーを守り、美しい自然を大切にしていきたいです。

(S.O)

キャップ・プルタブの回収散

	25年3月～10月	19年～累計
ペットボトルキャップ	124.4kg	1,869.7kg (ワクチン約935人分)
プルタブ	43.3kg	287.2kg (約ドラム缶2本目)

・ペットボトルキャップは1kg(約400個)10円、20円でポリオワクチン一人分になり、NPOエコキャップ推進協会より発展途上国に送られます。
 ・プルタブはドラム缶約7本で車椅子1台と交換できます。

平成25年度敬老事業のお知らせ

今年度敬老事業の内容をお知らせします。今年も敬老祝金贈呈対象者を中心に内容が大きく変わりました。

(一) 敬老祝金の贈呈
今年度より、平成25年4月1日～26年3月31日に誕生日を迎える88才と100才の方のみに祝金が贈呈されることになりました。

なお、民生委員が既にお届けいたしました。

(二) 星が丘の敬老事業

① 高齢者顕彰事業が新たに設けられました。

・対象：星が丘地区において、地域貢献活動が顕著な77才以上の個人

・対象者の選考：団体からの推薦者について、星が丘地区社協役員及び地区老人クラブ連合会代表からなる高齢者顕彰委員会において選考します。

・贈呈の内容：感謝状及び記念品

② 敬老祝い品の配布

平成25年4月1日～26年3月31日に誕生日を迎える77才以上の方に民生委員よりお届けしました。



落語：濱乃志隆さん



てふうきんの皆さんの演奏

③ 演芸・落語会の開催

今年度は、より多くの方にお越し頂けるように会場を三ヶ所にしました。

・9月15日(日) 午前10時～公民館
アコordeイオン演奏(てふうきん)
落語 (濱乃志隆)

・10月14日(月) 午前10時～
千代田7丁目自治会館
出前道芸
落語 (濱乃志隆)

・10月14日(月) 午後2時～
メイプルホール
(千代田2丁目)
出前道芸
落語 (濱乃志隆)

終了後、各会場にてお茶会もごさいますので、ぜひご参加下さい。

福祉学習会

「最期まで自分らしく生きるためには？」

9月8日、公民館を会場に福祉学習会が開かれました。講師は北里大 学病院の荻野医師を会長とする「最期まで良い人生をめざす会：相模原」のメンバーです。かなり深刻な話題を、会員による劇と解説で明るく表現してくださいました。

■脳梗塞で倒れてから

劇は、高齢のご主人が2度目の脳梗塞で倒れた場面から始まります。今や2人に1人が脳梗塞になる確率があるとのこと。どんな症状があったら脳梗塞の疑いがあるのか、その予防等が話されました。

その後、病院にかかったご主人は医療措置の選択に迫られます。呼吸が悪くなった時の様々な医療処置と、その時どこまで希望するのかの選択の話がありました。

更に胃腸が何なのか、家族や本人の意志等の話がありました。

続いて介護です。必要になった時どこに相談し、介護保険がどう使えるのか等の説明がありました。

治療やリハビリの後、療養生活に入ります。自宅での療養が自宅以外か。そのメリットやデメリット、そして療養機関の話もありました。

■最期までよい人生を送るには

最期を迎えるのは全員平等である。また色々な事は突然起こる。その時本人と話している時間がない事も多い。また、子どもの方から「死んだ時」のこと等聞きにくい。本人と残された家族のためにもエンディングノート等を利用し、思っている事を書き留めておくことが必要。

死はいつ来てもおかしくない。そう思うと一日一日が大事に思えてくる。死を意識する事が、最期までよい人生を送る事につながると思う。というのが会のメッセージでした。



そして最後は人生の締めくくりをどう迎えるのか、という話でした。

視察研修会で 東京臨海広域防災公園へ

6月18日、星が丘地区社協と、自治会連合会合同の視察研修会があり、東京臨海広域防災公園『そなエリア東京』を訪れました。

この施設は、震度7強の地震後を想定した薄暗い室内を、ニンテンドーDS(ゲーム機)を使用し、震災時に関するクイズに答え、自分の生存確率を判定しながら避難所(出口)まで行きます。DS初体験の方も多く戸惑う様子も見受けられました。

また、「震災アニメ」の上映もあり、大地震発生後の72時間を生きぬくためにどうしたらよいかを考えさせられました。

防災に関する知識習得のためにも、ご家族、お友達と『そなエリア東京』に行ってみてはいかがでしょう。



★東京都江東区有明3-8-35
「ゆりかもめ」有明駅より徒歩2分

映画会を2会場で開催 千代田7・横山2両自治会館で

例年公民館で開催している映画会を、「公民館は遠くて」という方の声を受け、今年度は千代田7(午前)、横山2(午後) 両自治会館で開催しました。両自治会の皆さんを中心に70名以上の方が参加する盛況でした。

「ローマの休日」に笑い声と...

大型テレビ(千代田7)とプロジェクト(横山2)を使つての映画会です。映画が始まって少し経つと笑い声やつぶやく声が聞こえてきました。そして終盤になると目頭を押さえる人もチラホラ。みんなで映画を鑑賞するということはとても楽しいものだと感じました。

次回は公民館と横6集会場

上映後、同じ会場でお茶会を開きました。ほとんどの方が残られ会話を楽しましました。

次回は、11月の公民館と横山6丁目集会所を予定しています。お楽しみに。



「星が丘地区『いっしょの広場』オープン 担い手募集・マジジャン卓等の提供を!

「人と人がつながりを持って、みんなが安心して暮らせる社会」を福祉コミュニティといえます。

平成24年4月より星が丘地区社協では、福祉コミュニティ委員会を立ち上げ、会議の開催や他地区社協の事例を視察してきました。

その結果、星が丘地区では、将来的に3地域において福祉コミュニティの拠点を設けることを目指し、その一つ目として「星が丘地区いっしょの広場」を平成25年11月に開設すべく準備を進めております。

当「いっしょの広場」は星が丘地区及び近隣に居住する幼児から高齢者まであらゆる世代が集える憩いの場、交流の場として設け、原則として毎月第4日曜日の昼間、星が丘公民館を会場として気軽に参加いただける場といたします。世間話等が出る憩いの場、合唱などを行う交流の場、更に利用者の自主的な食事・喫茶の機会を作る中で、お互いの交流の場といたします。

また、「いっしょの広場」を運営するに当たって、担い手としてお手伝いを募集しています。都合のつく日だけで結構です。お手伝いいただける

星が丘地区社協事務局
☎(755) 9955 内田・楠野

